



風っ子・環境キャンペーン



ネット張りから、水やりまでグリーンカーテンづくりに携わった栽培委員会のメンバー

その後は、毎日の当番を決め、20分休みか昼休みに水やりをしました。「声を掛け合ったり、メモを回したりして当番を忘れないように工夫し

が、栽培委員会でまずネット張りに挑戦。2階のベランダから垂らしたネットは、ピンと張るのがポイントです。こうすると、つるが絡まりやすく、理想的なカーテンができるのです。そこで金具を使って地面にしっかりと固定しました。



学校の花壇も担当。夏は成長が早く草むしりも大変です

ました」と話すのは、委員長の加部松和子さん（6年）。1年生も自分が植えたアサガオの成長を楽しみに、草むしりをして世話をサポート。ピンと張ったネットと熱心な世話で、立派なカーテンが完成しました。紫やピンクの花も咲き、涼しさだけでなく、美しさでもみんなを喜ばせています。

甘楽町立新屋小学校

いちかわみつはや
市川光早校長 253人
甘楽郡甘楽町大字天引 38-1
TEL:0274-74-3174

<http://kanra-schoolnet.ed.jp/niiyasho/>

今年で開校144周年になる歴史ある小学校です。児童たちの日々の頑張りをホームページで紹介しています。



きれいで涼しいカーテンだね

群馬県のマスコット「くんまちゃん」
許諾第30-111002号

身近にできるエコ活動

ごみになるものは買わない・もらわない

安いからという理由で、本当に必要ではないものを買っていませんか？本当に必要で大事なものは捨てるに修理して使うけれど、安く買ったものは「まあ、いいや」って捨てるが多くないですか？捨ててしまえば、ごみになるだけです。世界中がそんなふうにしたら地球はごみだらけになってしまいます。海の中はもうプラゴミがいっぱいです。「自分のごみを自分で処理しなければならない」としたら・・・？ごみをださないことが一番楽だと思いませんか？

群馬県環境アドバイザー 奈賀由香子

甘楽町

1年生の教材を活用 元気なアサガオのカーテン

甘楽町立新屋小学校

甘楽町立新屋小学校（甘楽町天引）の校舎前に、アサガオのグリーンカーテンが涼しそうに揺れています。

同校のグリーンカーテンの「もと」を担当したのは、40人の1年生。5月の初め、生活科の教材としてアサガオの種をまきました。1カ月ほどたったところ、新芽の中から元気が良い2本を選んでそれぞれ外は抜く「間引き」という作業をしました。そうしないと、株同士の間隔が狭まって日光が届きづらくなったり、風通しが悪くなったりしてうまく

育たないのです。でも折角、芽を出したのに抜いて捨ってしまうのはかわいそう。そこで、間引いた80株を地面に植えて、グリーンカーテンを作ろうということになりました。

風っ子・環境キャンペーンを応援します



2019年10月発表予定 新型インプレッサ 先行予約受付中



※写真はすべてインプレッサSPORT/G4プロトタイプによるイメージで実際の仕様とは異なる場合があります



本社/前橋市本町2丁目11番2号 TEL.027-221-8111(代)
太田支社/太田市飯塚町1620-1 TEL.0276-45-3986(代)
ホームページ <http://www.fujisubaru.co.jp> 富士スバル